

金融リテラシー ～人生を豊かにする「お金」の知恵～

2020年2月14日

日本銀行副総裁
雨宮 正佳



(図表1)「金融リテラシー調査」の設問例

▽ 「金融知識・判断力」に関する正誤問題

■ 金利が上がったら、通常、債券価格はどうなるでしょうか。

- ①上がる
- ②下がる
- ③変化しない
- ④債券価格と金利の間には何の関係もない
- ⑤わからない

▽ 「行動特性・考え方」に関する設問

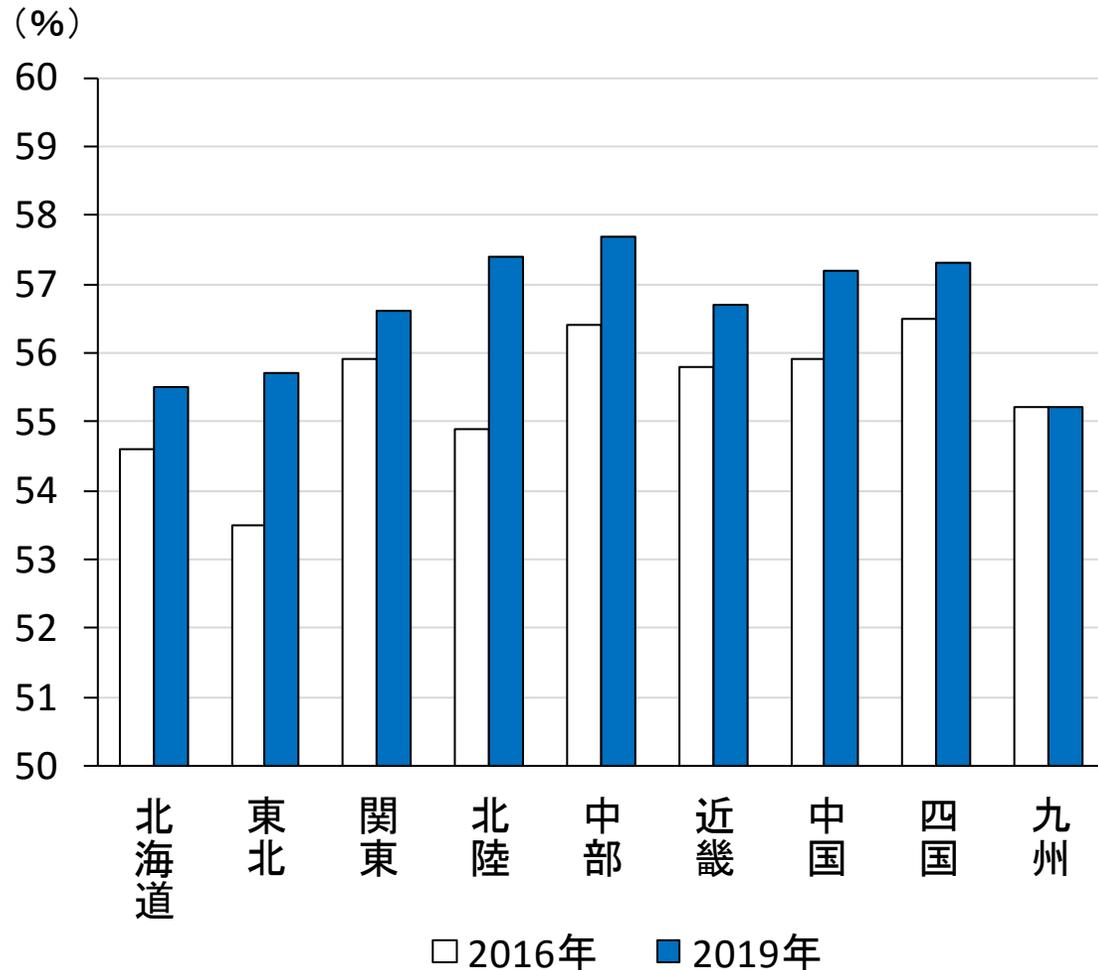
■ お金を貯めたり使ったりすることについて、長期の計画を立て、それを達成するよう努力する。

- ①あてはまる
- ②どちらともいえない
- ③あてはまらない

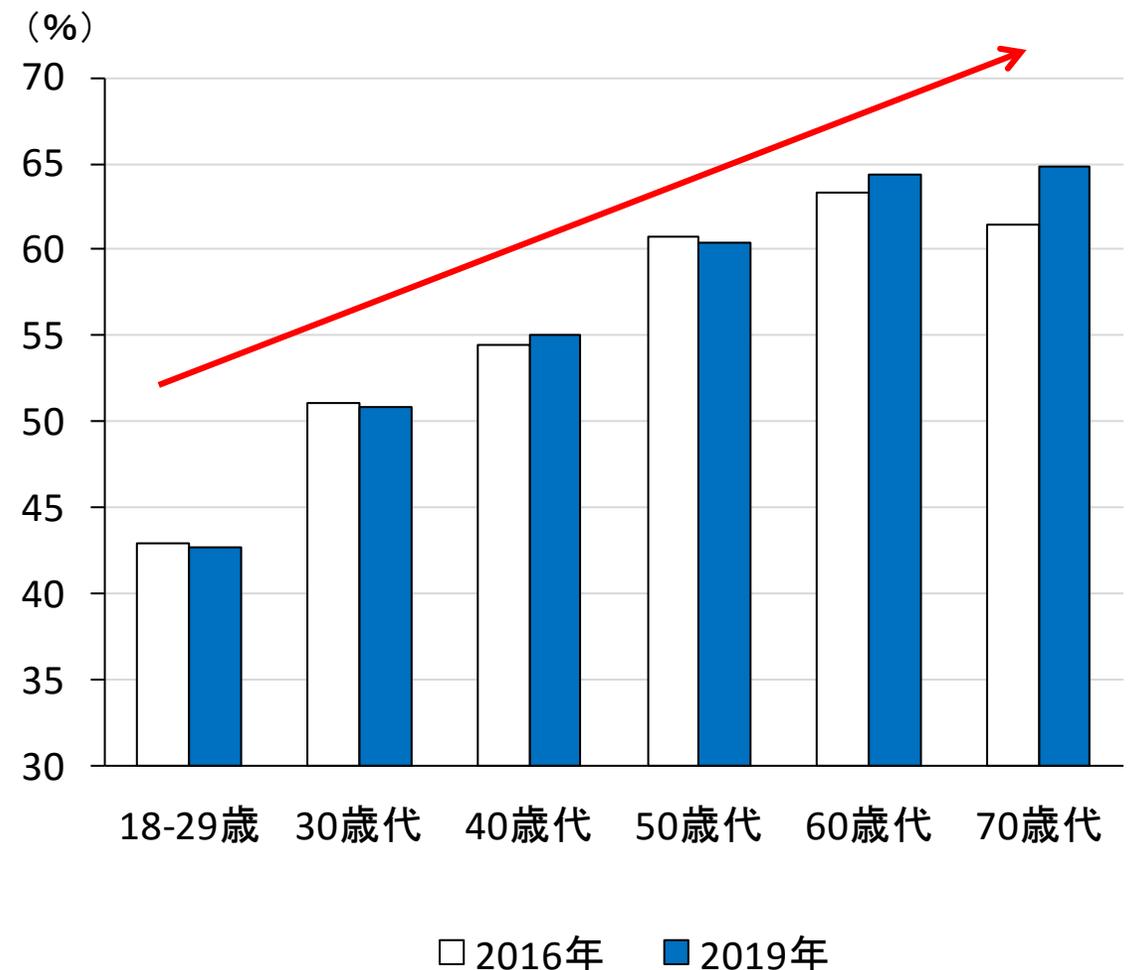
(図表2) 正誤問題の正答率(1)

▽正答率平均：56.6% (2016年調査：55.6%)

▽地域別



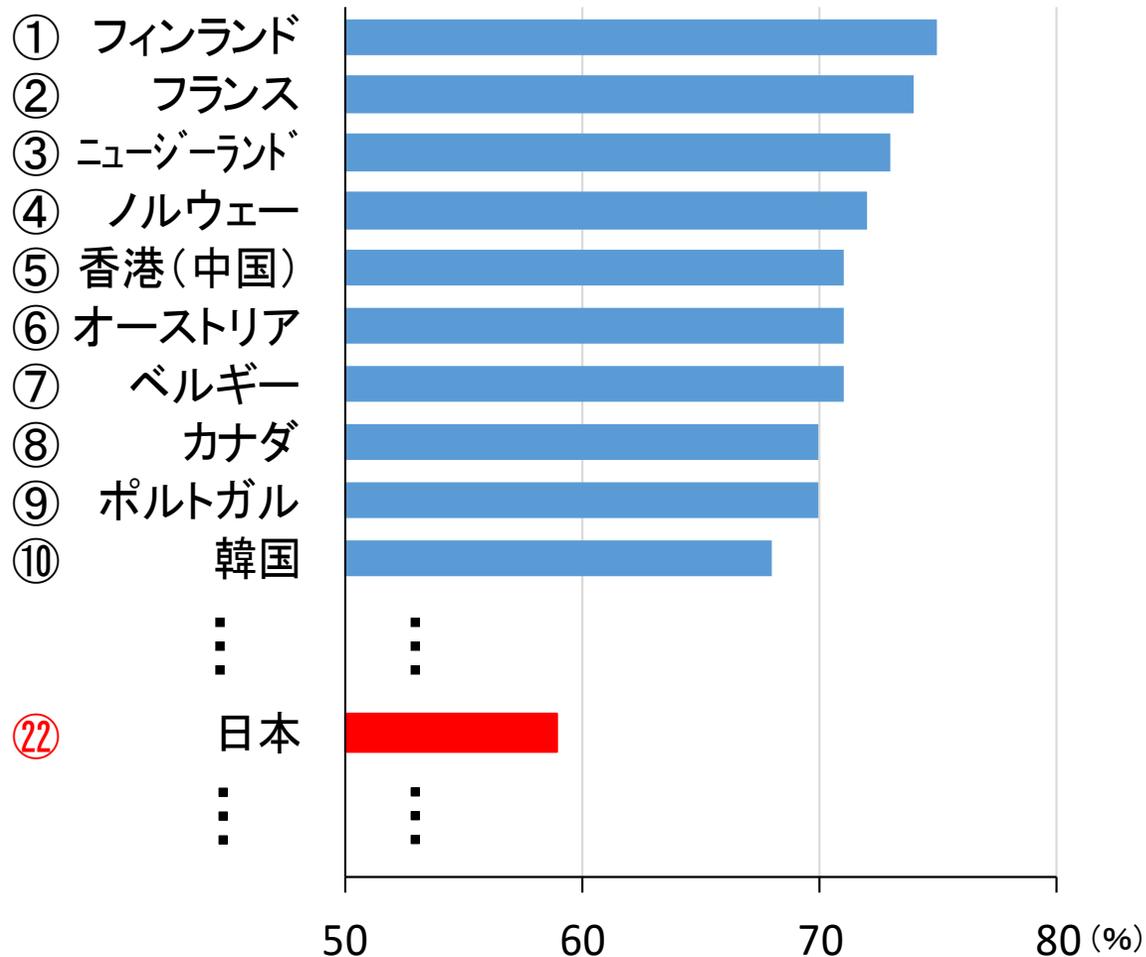
▽年齢階層別



(図表3) 正誤問題の正答率(2)～国際比較～

▽OECD調査との比較 (共通11問)

(日本が相対的に正答率の低かった設問)



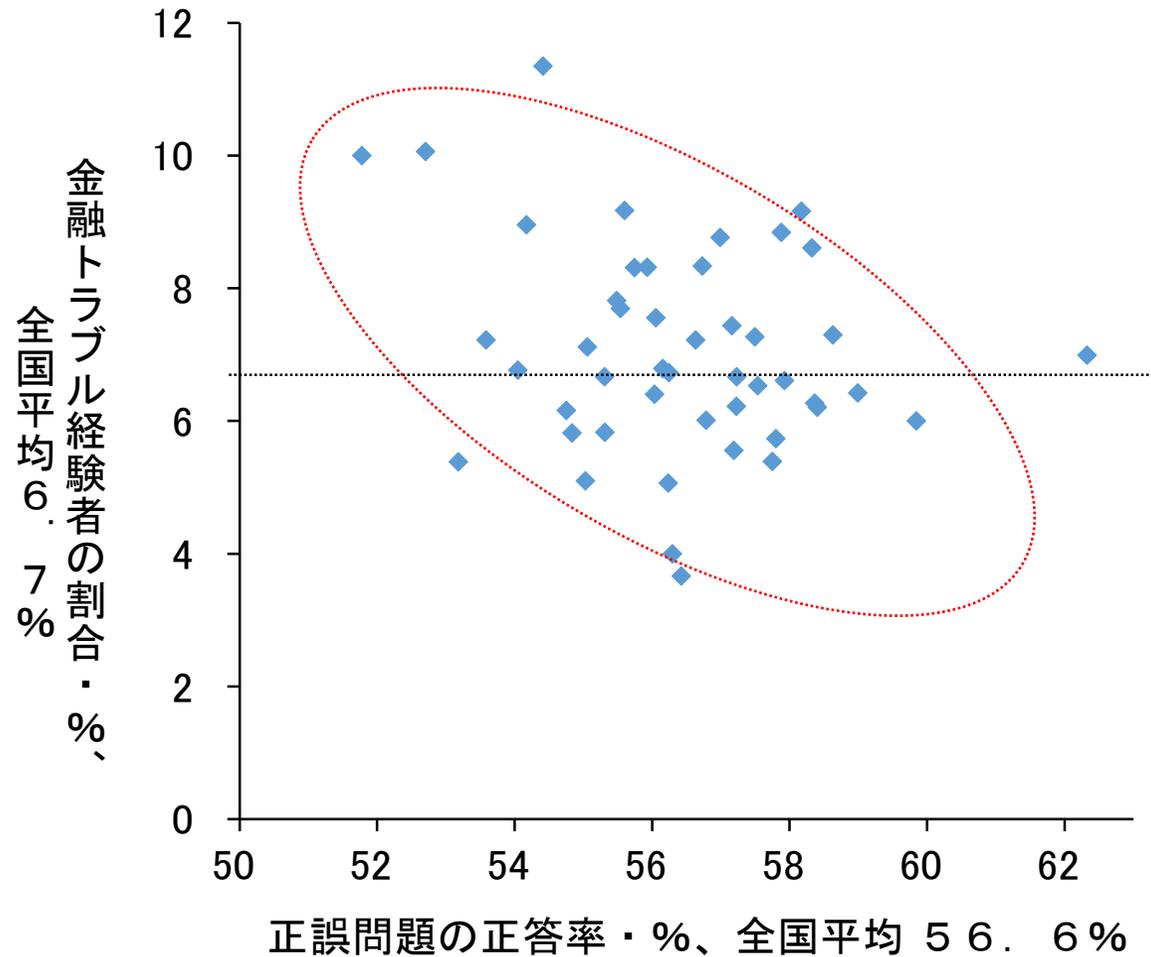
■ **インフレ**: 次の文章が正しいかどうかをご回答ください。
「高インフレの時には、生活に使うものやサービスの値段全般が急速に上昇する」

■ **複利**: 「100万円を年率2%の利子がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、5年後の残高はいくらになっているでしょうか (税金は考慮しない)」

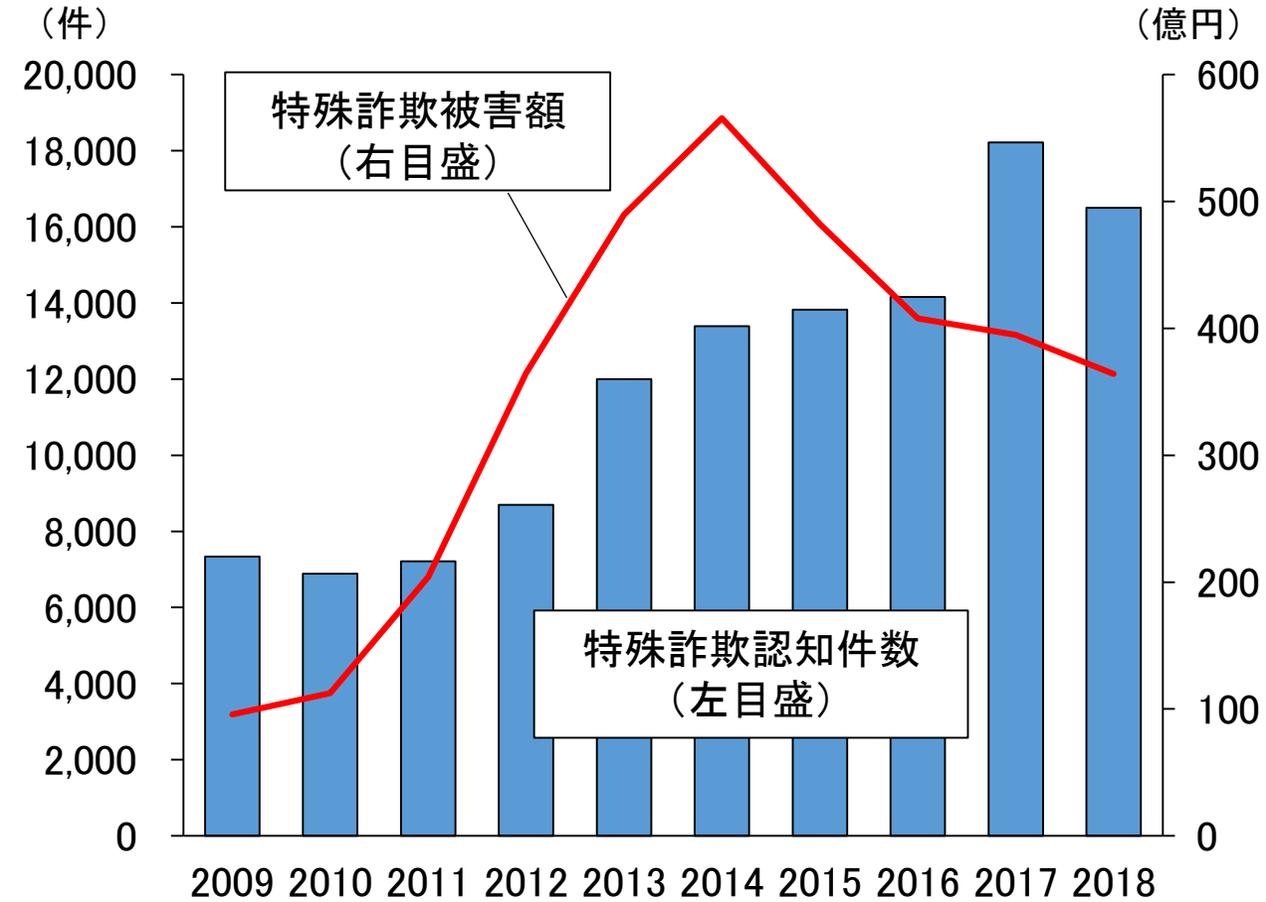
■ **分散投資**: 次の文章が正しいかどうかをご回答ください。
「1社の株を買うことは、通常、株式投資信託(何社かの株式に投資する金融商品)を買うよりも安全な投資である」

(図表4) 正答率が高い人の特徴

▽ 正答率と金融トラブル経験者の割合



(参考) 特殊詐欺の被害



(出所) 警察庁「平成30年における特殊詐欺認知・検挙状況等について(確定値版)」

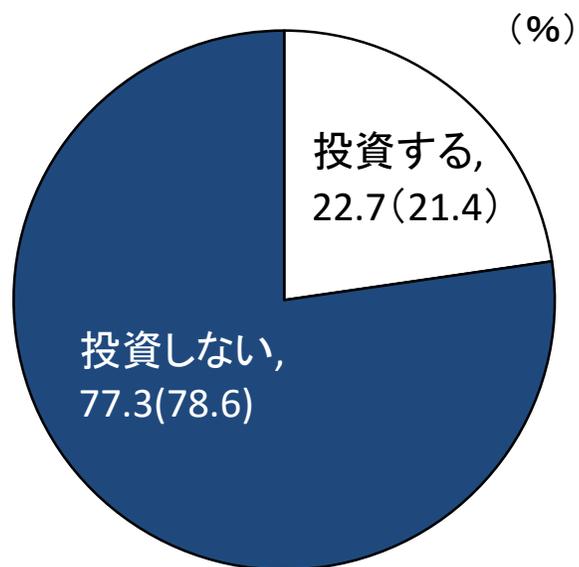
(図表5) 投資姿勢

▽リスク・テイク姿勢

■10万円を投資すると、半々の確率で

- ・ 2万円の値上がり利益
- ・ 1万円の値下がり損

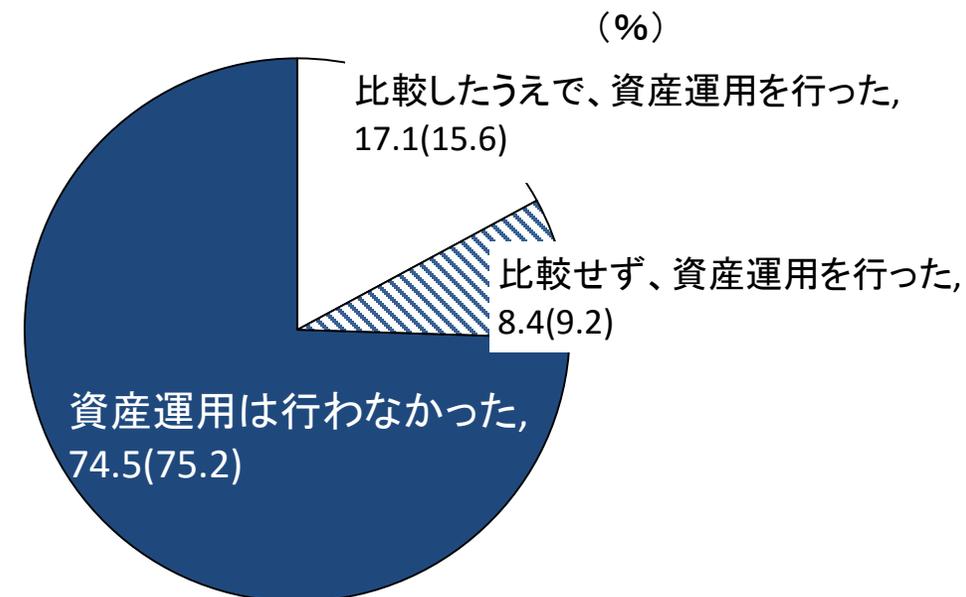
のいずれかが発生するとします。
あなたならどうしますか。



▽資産運用

■過去に1か月の生活費を超える金額のお金を運用したことがありますか。

■最後にお金を運用した際、最も有利と考えられる金融商品を選ぶために、他の金融機関あるいは他の金融商品と比較しましたか。

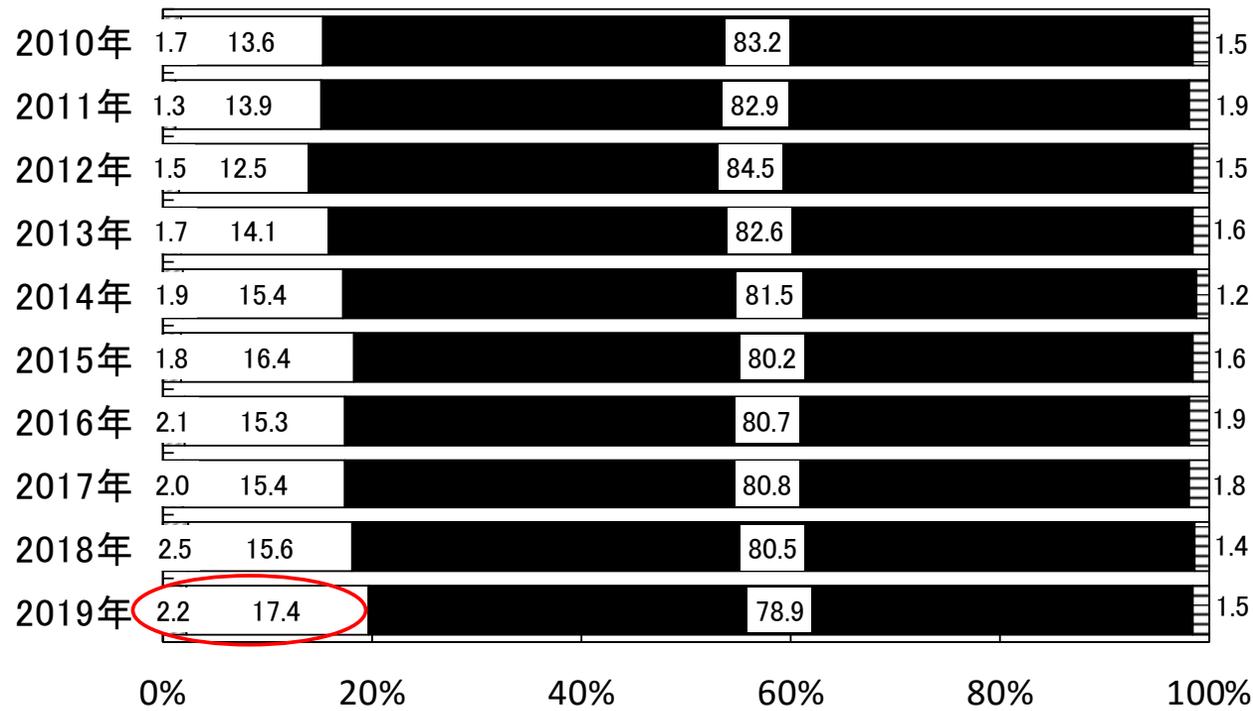


(注) () 内は2016年調査

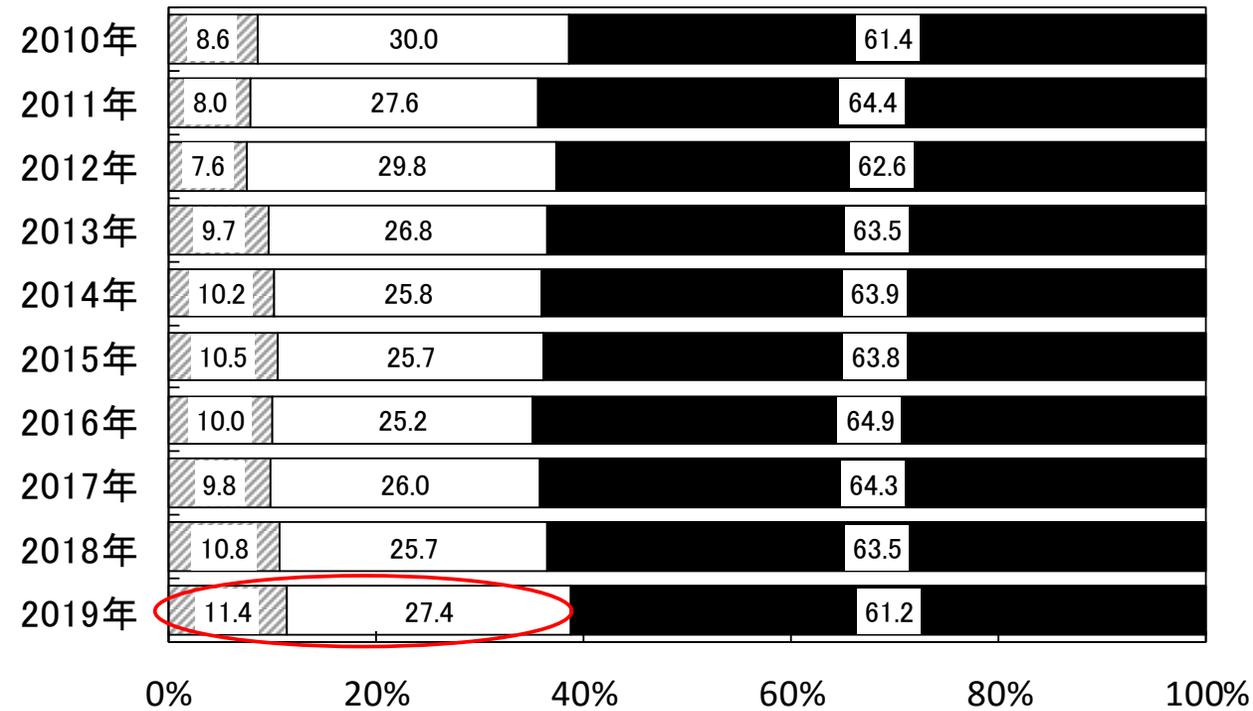
(図表6) 投資姿勢(「家計の金融行動に関する世論調査」より)

■元本割れを起こす可能性はあるが、収益性の高いと見込まれる金融商品について、今後、1～2年の間にどのくらい保有しようと考えていますか。

▽二人以上世帯



▽単身世帯



□ そうした商品についても、積極的に保有しようと思っている

■ そうした商品についても、一部は保有しようと思っている

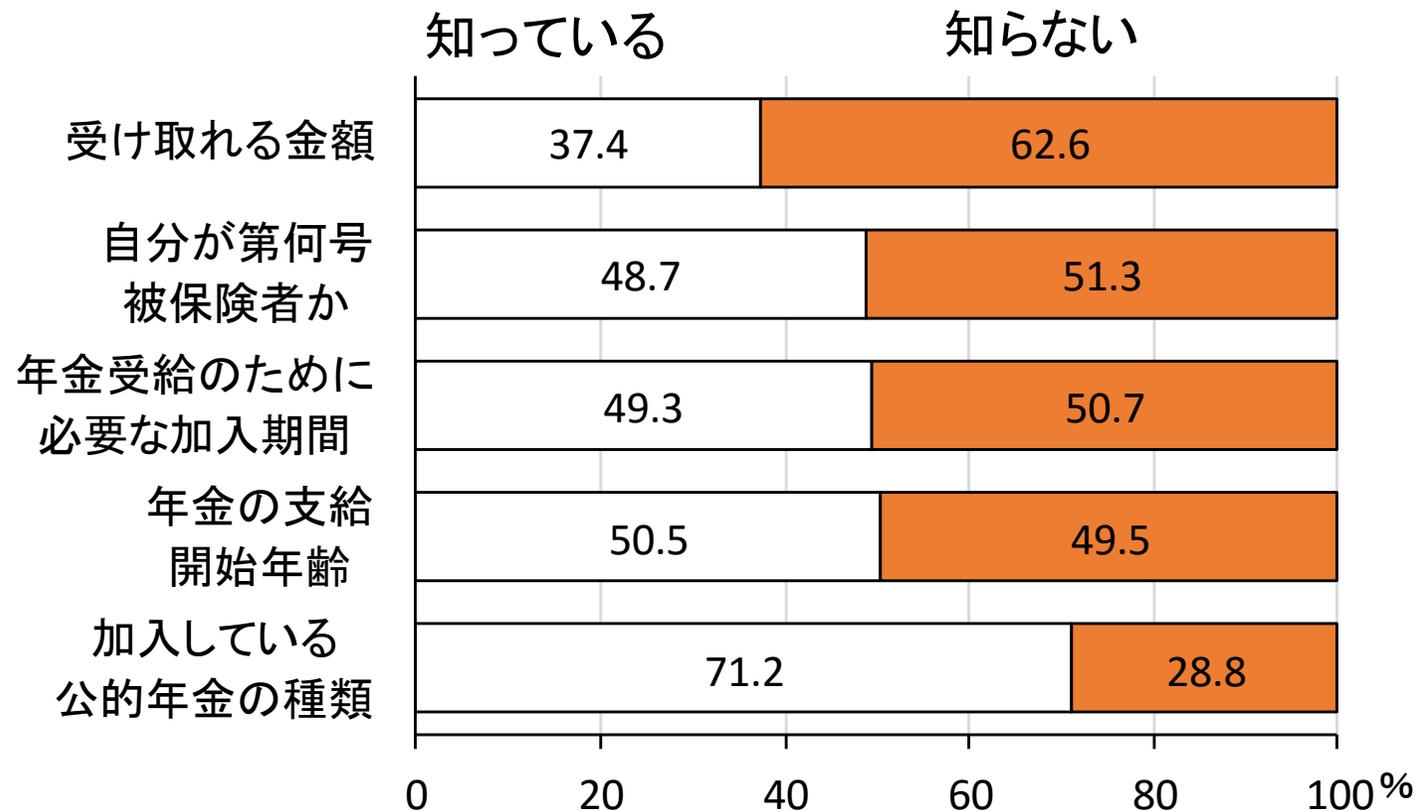
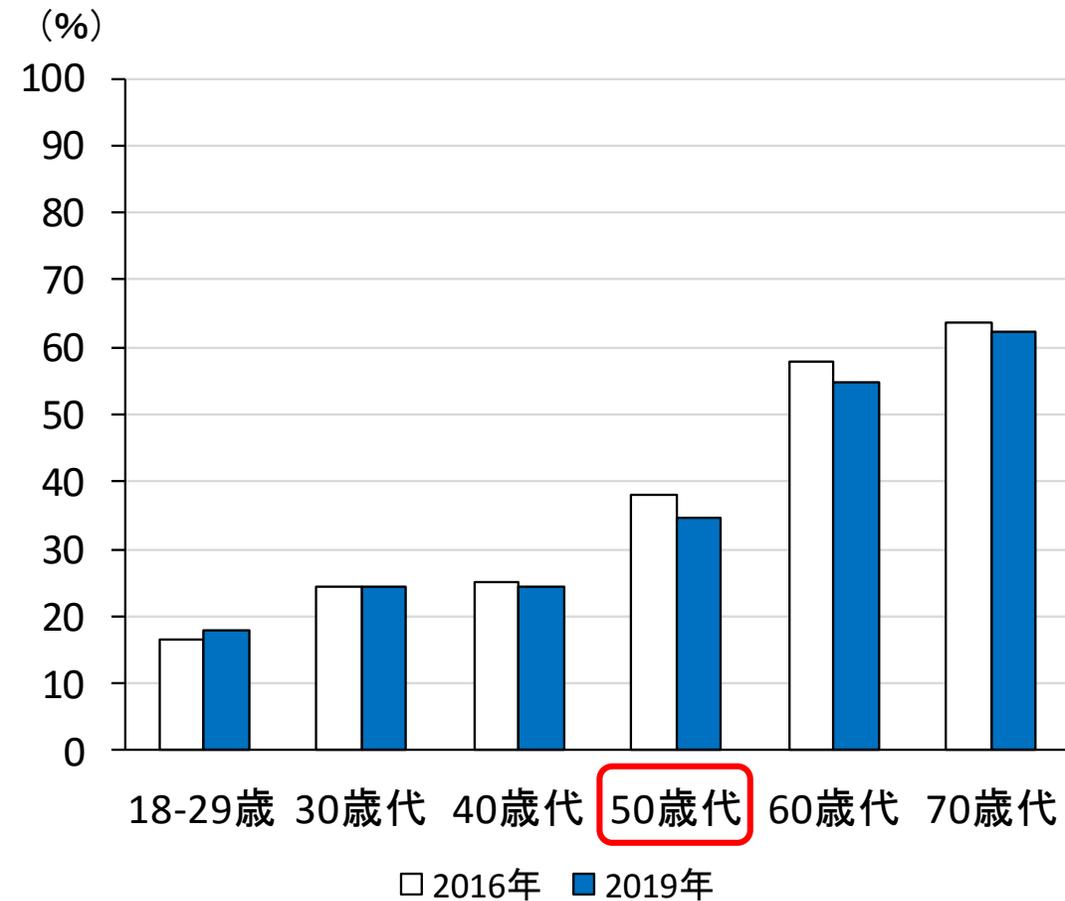
■ そうした商品を保有しようとは全く思わない

▨ 無回答

(図表7) 老後の生活資金に関する認識

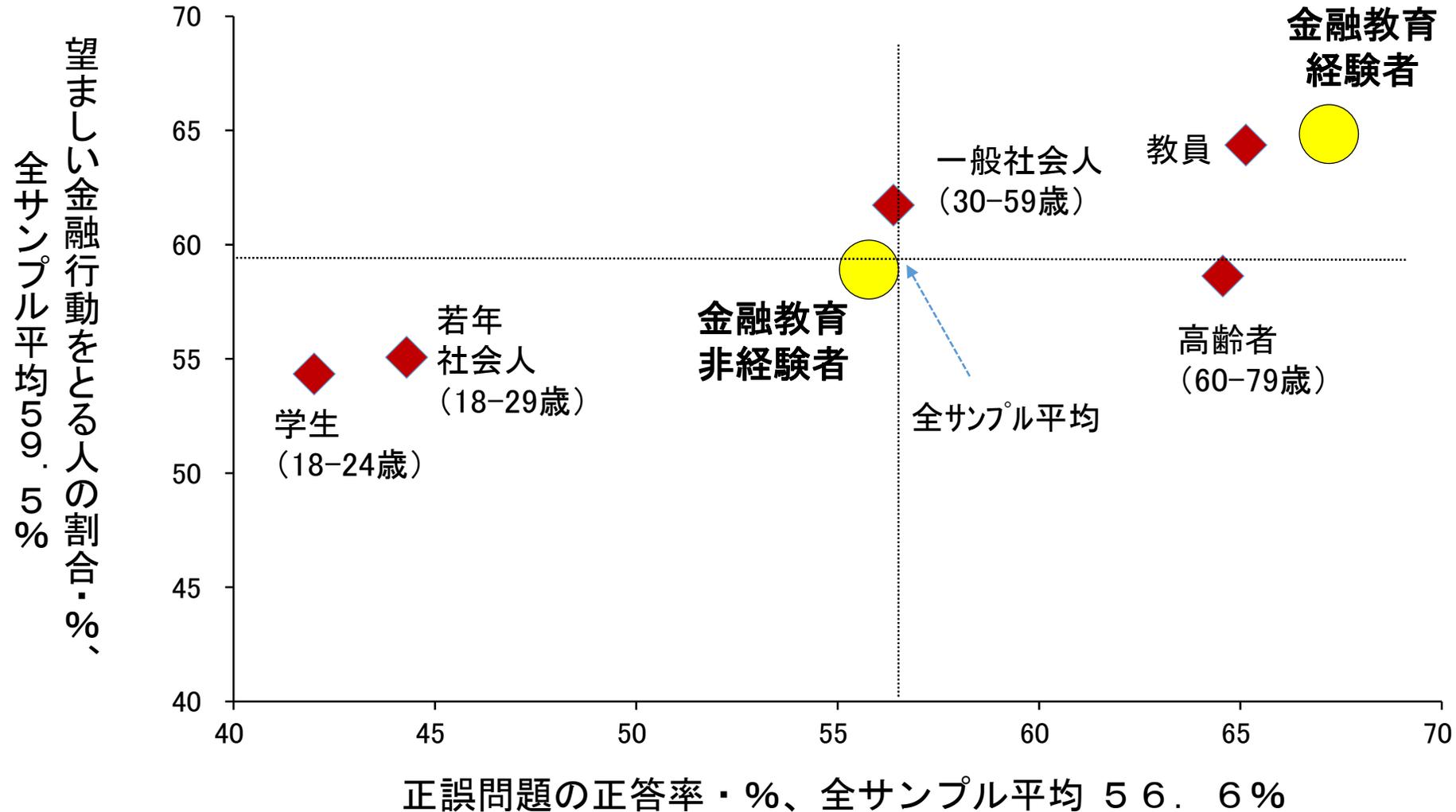
▽ 「定年退職後の生活費」の資金計画を策定している人の割合

▽ 自分の公的年金についての理解 (50歳代)



(図表8) 金融教育の効果

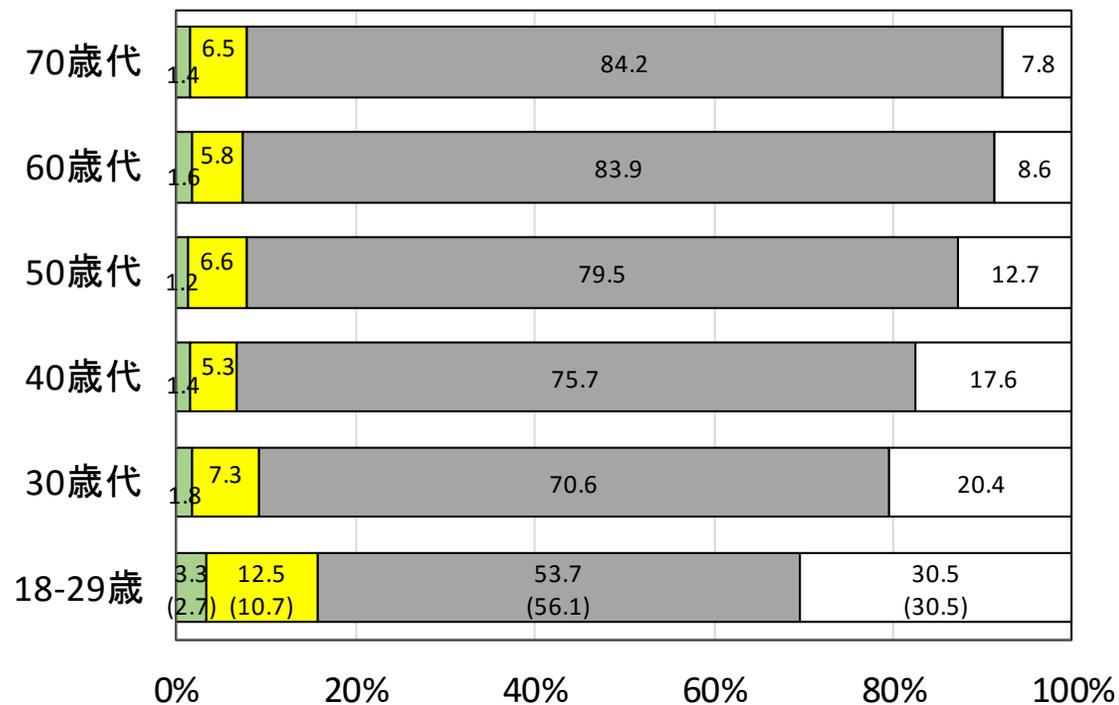
▽職業・年齢階層別の正答率と行動



(図表9) 金融教育の経験

▽学校等での金融教育経験

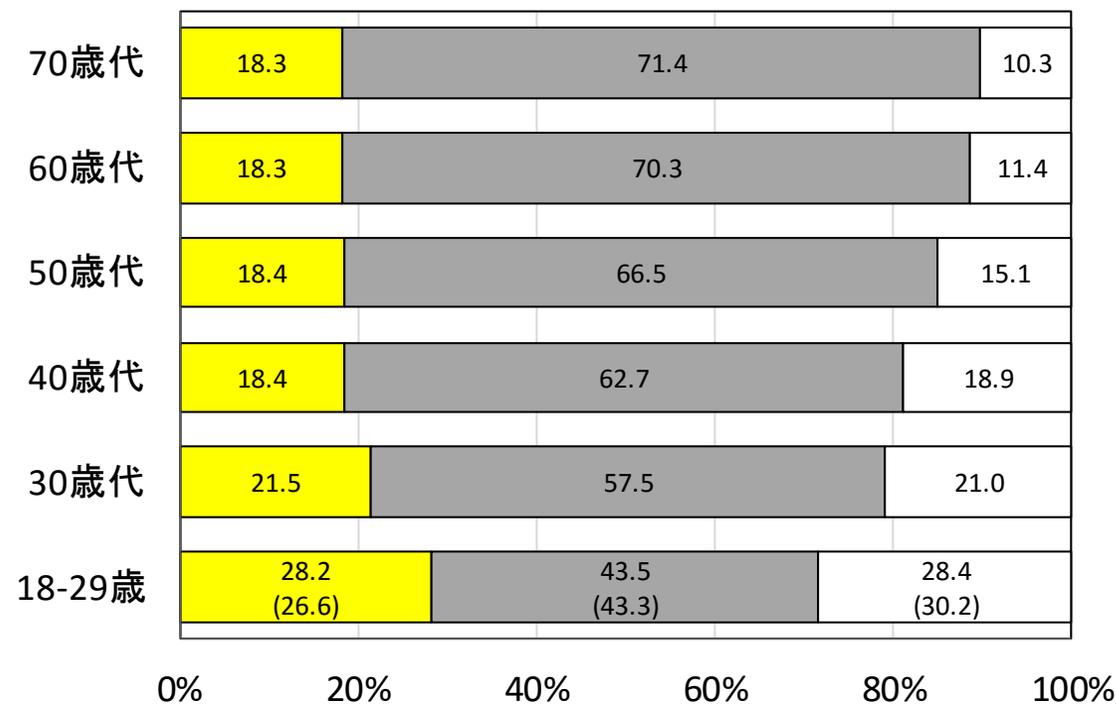
■ 在籍した学校、大学、勤務先で「金融教育」を受ける機会がありましたか。



- 受ける機会があったが、自分は受けなかった
- 受ける機会があり、自分は受けた
- 受ける機会はなかった
- わからない

▽家庭での金融教育経験

■ ご家庭で保護者の方から「お金の管理」について教わる機会がありましたか。

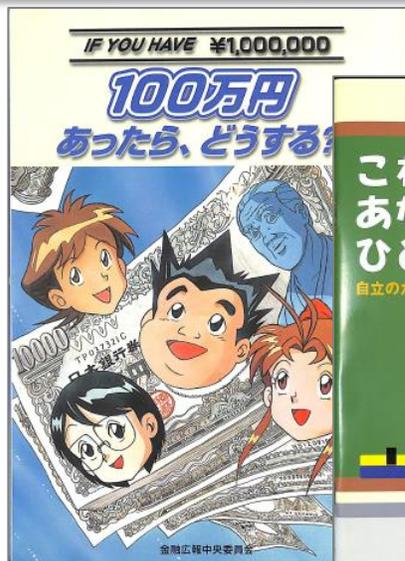


- 機会があった
- 機会はなかった
- わからない

(注) () 内は2016年調査

(図表10) 金融教育のためのツール

各層向けのパンフレット



小中学生



高校生

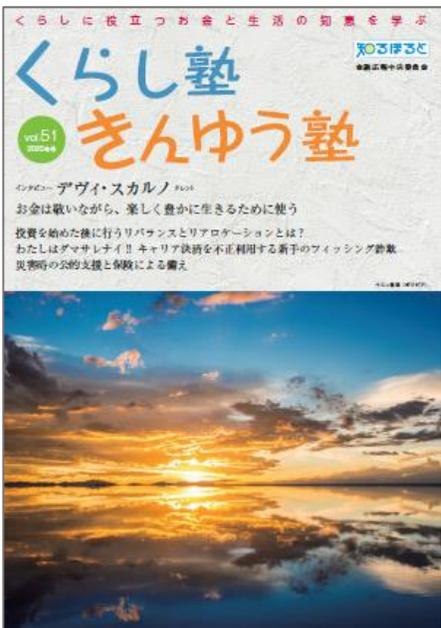


大学生



大人

「知るぽると」ホームページ



広報誌『暮らし塾 きんゆう塾』

